

滋賀県立総合病院の機能別病床計画の見直し

参考資料 1

R5年度報告内容

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
R7.1～(病院統合)	78	465	92	0	635
R8.1～(病棟移転)	66	405	89	0	560

見直し案

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
R7.1～(病院統合)	78	465	92	0	635
R8.4～(病床数削減)	78	418	92	0	588
R9年度中～(病棟移転)	68	405	87	0	560

(摘要)

- ・小児病棟移転の遅れから見直し案となる。
- ・小児病棟移転は令和9年度中の予定となる。
- ・病床数を75床削減し、560床とする計画は変わらない。
- ・小児新棟には、回復期・慢性期病棟機能を持たせず、患者・家族の利用満足度を高める機能を持たせる。